

体験型の森林学習展示館へリニューアルオープン

1 はじめに

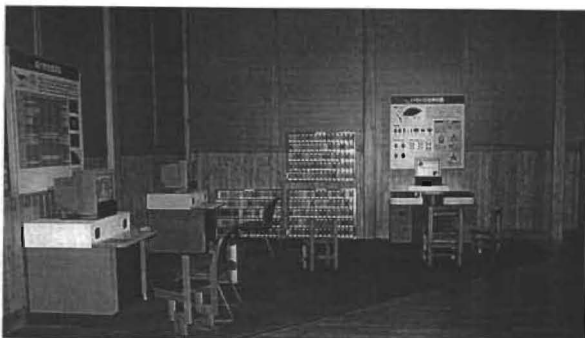
1988年に現在の林業総合センターとして開館以来、展示パネルや標本などで森林・林業の紹介をしてきましたが、展示物の老朽化などが目立つようになり、今回これまでの展示型から体験型のものへとリニューアルしました。



(館内の様子)

2 より多くの情報提供へ

現代の情報化社会にふさわしく様々な情報を来館者へ伝えられるように、今回の目玉としてパソコンを活用し楽しく森林や動植物を理解できるように、パソコン操作による体験学習コーナーを設けました。



(3種類のパソコン体験学習コーナー)

パソコンは、「森のかるた取り」「森の野鳥歳時記」「森林クイズ」の3台です。

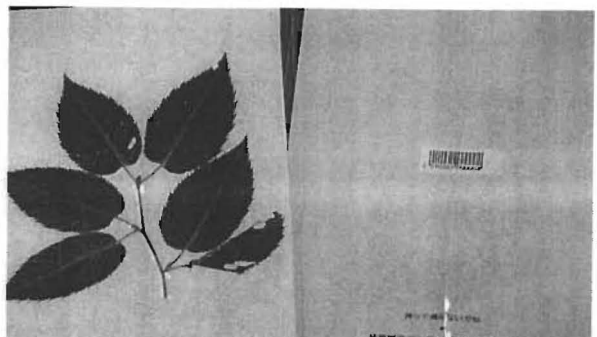
森のかるた取りは、構内約300種の草木の標本にバーコードを張り、パソコンで読み取ると、その植物の写真や説明文が表示される仕組みです。構内から採取した葉と同じ葉の標本を照らし合わ

せ、合った標本をパソコンの読み取り装置に置くだけで植物の名前や特徴を学ぶことができます。



(森のかるた取りパソコン)

野鳥歳時記は、約100種類の野鳥について知りたい野鳥をパソコンで様々な方法で検索し、分類や生態、鳴き声を学習することができます。



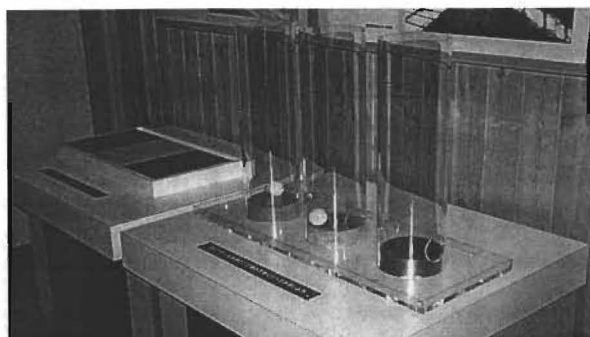
(バーコードの付いた葉の標本)

森林クイズは、パソコン操作者が主人公になり物語に登場する森林・林業に関する問題を解きながら画面に表示された山道を進んでいくものです。最後に得点が表示され、森林・林業などの理解度を他人と比べることができます。

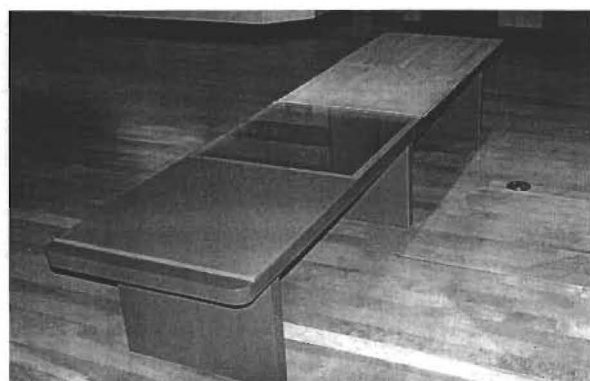
3 体感と感動

木材の性質を理解できるように、木板、鉄板、コンクリート板へ、ゴルフボールを一定の高さから落とし、その弾みの違いで、木材と他の素材との衝撃吸収力の差を観察します。木の床ならば歩くときに体に及ぼす衝撃が少ないことを、この実験を通して理解できます。

また、木や金属など材質が異なる座面に座ること
で熱の伝わり方を肌で感じるができるベン
チもあります。



(衝撃吸収力をみてみよう)



(3種類の物質からできている椅子)

四季を通して当館周辺の森林の見ごろを紹介し
たり、来館者が散策で見つけた森林の事象(感動)
を記入できる「森のインフォメーション」があり
ます。



(森のインフォメーション)

来館者が広い森林エリアのどこを観察すればよ
いか手がかりになるほか、森林観察プログラムの
テーマや企画を前もって知るのに役立ちます。“栗
の実をここで拾った”とか、“カブトムシを見つけ
た木”とか、“蜂の巣に気がつけて”とか、発見し

たことでも、こんな遊びをしたとかでも、どんな
ことでも自由に書き込みができるボードです。



(当館周辺の立体模型)

また、当館周辺の地形を詳しく立体にした模型
を設置しました。これは、身近な森林と街を遠く
から眺めることで、我々の生活場所と森林との関
わりなど全体像を理解するのに役立ちます。

4 さいごに

これまでは展示物を見ることを主体にした学習
でした。これからはこれらの体験型教材を各々で
積極的に活用して、森林を守る育むという視点で、
体験学習の森へ飛び出し、生きた教材を観察し、
疑問が出たらまた森林学習展示館へもどり調べ
る、その繰り返しとともに、自然環境の中で、四
季折々の変化をありのままに実感してほしいと思
います。



森林学習展示館を身近な自然体験学習のできる
場所として御利用ください。

開館は午前9時～午後4時で、月曜休館です。

(指導部 開藤)